

製品の特長

性能

- 7020TR-48:48 ポートの 100/1000Mb、6 ポートの SFP+
- 最大スループット 216Gbps
- 最大転送速度 162Mpps
- ワイヤスピードによる L2 および L3 転送

データセンター向けに最適化された設計

- 最大 3GB のウルトラ・ディープ・パケット・バッファ
- ヘッド・オブ・ライン・ブロッキングを排除するポートごとの仮想出力キュー
- 1+1 のホット・スワップ可能な冗長電源
- N+1 のホット・スワップ可能な冗長ファン
- エアフローの方向が選択可能
- ツールレス・レールでインストールが容易
- 2 ポストおよび 4 ポストラックへのマウント
- 90%以上の高効率電源
- AC または DC 電源オプション

クラウド・ネットワーキング対応

- 最大 256K の MAC エントリ
- 最大 200K の IPv4/IPv6 ルート
- 最大 80K の IPv4/IPv6 ホスト・ルート
- 128way ECMP
- 64 ポートの MLAG
- 3GB バッファ

対障害性を備えたコントロール・プレーン

- マルチコア x86 CPU
- 8GB DRAM
- 4GB のフラッシュ・メモリ

高度なプロビジョニングとモニタリング

- CloudVision
- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- 高度なイベント・モニタリング
- sFlow (RFC3176)
- 次世代データセンター向けの VXLAN*
- LANZ によるマイクロバースト検出*
- VM Tracer*
- OpenStack
- Chef, Puppet, Ansible

Arista Extensible Operating System

- 単一バイナリ・イメージ
- 完全にモジュール化されたネットワーク OS
- ステートフル・フォールト・コンテインメント (SFC)
- ステートフル・フォールト・リペア (SFR)
- Linux シェルやツールへのフル・アクセスを提供
- bash、python、C++、GO、OpenConfig で拡張可能なプラットフォーム

概要

Arista 7020R シリーズは、高密度のデータセンターを展開するために特別に設計された高性能、省電力のソリューションです。100/1000Mb を 48 ポート、1/10GbE SFP+ を 6 ポート搭載し、216Gbps のノンブロッキング転送を多機能の L2 および L3 スwitチングで実現します。7280R シリーズの正常進化である 7020R は、アリスタのデータセンター向けスイッチ製品の一部を担います。

QoS、セキュリティ、自動化、モニタリングの機能を幅広くサポートする 7020R は、アリスタのボックス型構成の 7280R シリーズ 10/40 ギガビット・スイッチと併用すると、1G と 10G の両方の環境にネットワーク・ポリシーを首尾一貫して適用するといった難問を容易に解決できます。7020R は、リーフ/スパイン設計による 1Gb イーサネットのサーバ・エッジや、高性能ストレージ・ネットワーク・スイッチなど、柔軟な構成で導入できます。Arista EOS の高度な自動化、モニタリング、プロビジョニングの機能がアリスタのスイッチの全モデルで使用できるので、複合的な環境を管理する複雑な作業も、統一された機能セットの利用により大幅に簡略になります。7020R シリーズのディープ・パケット・バッファおよび大規模フォワーディング・テーブルにより、幅広いネットワーク・アプリケーションをサポートできます。

7020TR は、48 個の 100/1000Mb RJ45 ポート、および 1G と 10G のアップリンク接続用の 6 個の SFP+ ポートを備え、多様な光ケーブルに対応します。Arista 7020TR スイッチは低遅延であるだけでなく、完全に共有され、輻輳しているポートに動的に割り当てられる最大 3GB のディープ・パケット・バッファも備えています。

7020TR の消費電力はギガビットあたり 1W 以下と非常に省電力な設計となっています。AC と DC 電源を選択でき、単一のシステムで電源冗長構成が組み込まれているほか、前面吸気/背面排気または背面吸気/前面排気をサポートする冗長ファンを備えています。

7020R シリーズは、Arista EOS を基盤として、ビッグデータ、クラウド、仮想化環境、物理環境にふさわしい、高度な機能を実現し、動画配信、メディア、エンターテインメント向けの拡張機能を備えています。



7020TR: 48 ポートの 100/1000Mb および 6 ポートの 10GbE スイッチ

Arista EOS

Arista 7020R シリーズでは、アリスタの全製品で共通の Arista EOS ソフトウェアが稼働しており、ネットワーク管理を簡素化します。Arista EOS は、モジュール型のネットワーク OS で、スイッチの状態管理をプロトコル処理およびアプリケーション・ロジックから完全に分離する、独自の状態共有アーキテクチャを採用しています。標準の Linux カーネルを基盤として構築されており、すべての EOS プロセスは独自の保護メモリ空間内で実行され、インメモリ・データベースを介して状態を交換します。このマルチプロセス状態共有アーキテクチャは、インサービス・ソフトウェア・アップグレード (ISSU) および自己回復型の耐障害性のための基盤となります。

また、Arista EOS の搭載により、ゼロ・タッチ・プロビジョニング、LANZ、VM Tracer、Linux ベースの各種ツールといった高度なモニタリングや自動化の機能を、強力な x86 CPU サブシステムによってスイッチ上でネイティブに実行できます。

高可用性

Arista 7020R スイッチは、システム全体のハードウェア・コンポーネントとソフトウェア・コンポーネントの両方をモニタリングし、保守とプロビジョニングを簡素化して単一障害点を回避することにより、継続的な運用を実現できるように設計されています。高可用性に向けた主な機能は以下のとおりです。

- 1+1 冗長のホット・スワップ可能な電源と、N+1 冗長のホット・スワップ可能な 4 個のファンによる動的な温度管理
- プラチナ・レベルの電力効率を実現する、カラーコード付きの PSU およびファン
- ライブ・ソフトウェア・パッチ
- ステートフル・フォールト・リペア(SFR)による自己回復ソフトウェア
- リンク・アグリゲーション・グループ(LAG)あたり最大 32 個のポート
- マルチシャーシ LAG によるアクティブ/アクティブ L2 マルチパス
- 128way の ECMP ルーティングによる負荷分散と冗長性



7020TR-48 1RU の背面: 前面吸気/背面排気



ホット・スワップ可能な電源

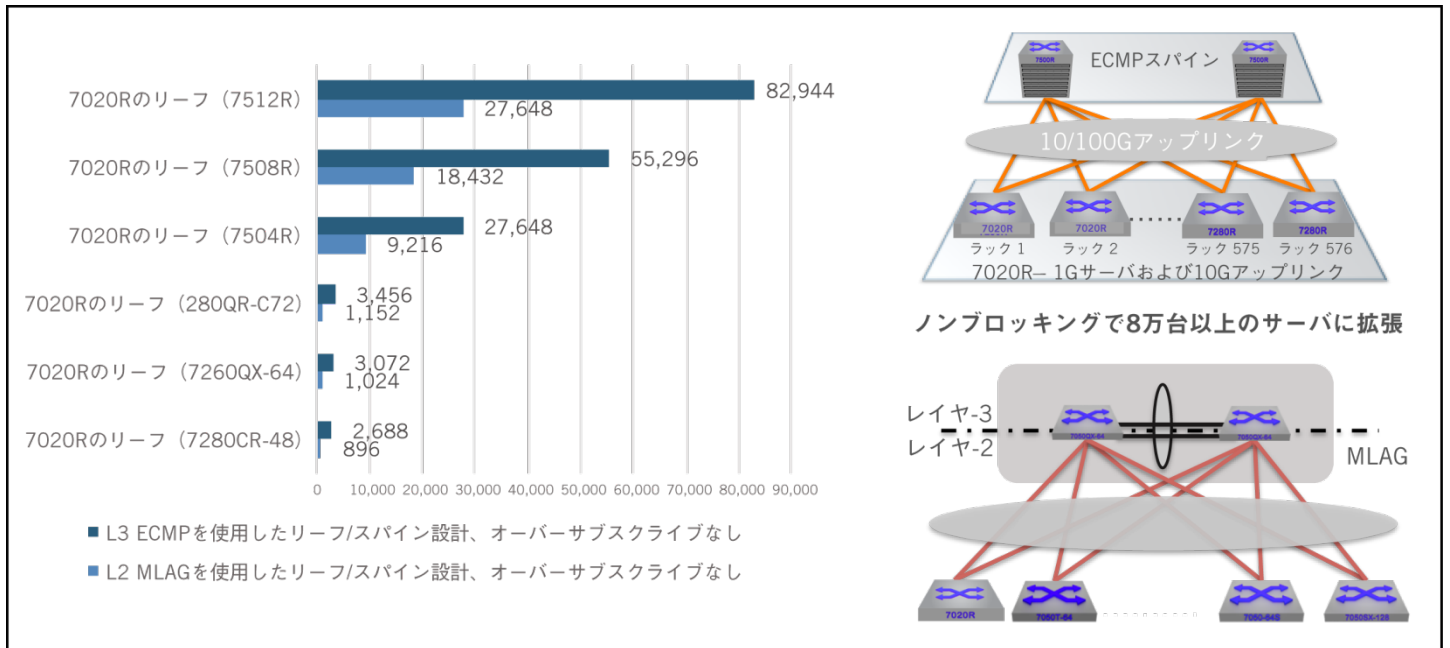


ホット・スワップ可能なファン・モジュール

データセンターの性能をスケール

Arista 7020R シリーズは、レイヤ 2 およびレイヤ 3 におけるラインレート・スイッチングを実現することで、データセンターのネットワーク設計を劇的に高速化および簡素化し、ネットワークの導入コストと運用コストを大幅に削減します。Arista 7000 シリーズのボックス型スイッチやモジュール型スイッチと併用することにより、予測可能で一貫したアプリケーション・パフォーマンスを提供する低遅延の 2 階層ネットワークで、8 万台を超える 1G サーバを収容する規模までネットワークを拡張することができます。オープン規格に準拠した L2 および L3 のマルチパス設計の柔軟性は、最高のスケーラビリティと、単一の 2 階層設計で数千台のホストに拡張可能なネットワーク全体の仮想化を提供します。また、Arista EOS の高度な機能によって、一元化された管理による制御と可視化を可能にします。

Arista のリーフ/スパイン設計により相互接続した 1GbE ノードの数



Software Defined Cloud Networking

Arista Software Defined Cloud Networking (SDCN) は、クラウド・コンピューティングの普及の原動力でもある、自動化、セルフサービス・プロビジョニング、パフォーマンスとコストのリニアなスケールリングを実現しつつ、ネットワーク仮想化、カスタムなプログラム性、シンプルなアーキテクチャ、低い導入コストを実現するといった Software Defined Networking のトレンドを兼ね備えています。これにより、企業とサービス・プロバイダーの両方のデータセンターに対し、ネットワークの価値を最大限に高める業界最高水準のソフトウェア基盤を構築します。

スケールアウトするネットワーク設計に向けた最大限の柔軟性

スケールアウトを考慮したネットワークを設計することで、まずは小規模なソリューションを構築し、時間とともにそれを拡張させていくことが可能になります。シンプルな 2way 設計を、アーキテクチャに大きな変更を加えることなく最大 128way にまで拡張することができます。Arista 7020R では、柔軟なスケールアウト設計を可能にする次のような機能強化が行われています。

- 6 個の 1/10G ポートにより、スケーラブルな設計と、大規模 2 階層リーフ/スパンでのトラフィックの均等な分散を実現
- L2 および L3 のフォワーディング・テーブル・リソースに関する設計の自由度を向上
- VXLAN ゲートウェイと、VM Tracer 機能によるブリッジングとルーティングにより、次世代データセンター設計が可能*
- 仮想出力キュー (VoQ) アーキテクチャおよびディープ・パケット・バッファにより、ヘッド・オブ・ライン・ブロッキングを排除し、低レイテンシーを実現
- 拡張性のある ACL で、フォワーディング・エンジンあたり最大 12,000 個のエントリに対応し、優れたポリシー制御が可能
- 1G および 10G の多彩な光トランシーバ、光ケーブルにおいて、各ポートでマルチスピードの柔軟性を実現
- ネットワーク全体にわたる可視化と監視を提供する統合パケット・キャプチャ、sFlow、マルチポート・ミラーリングにより、トラフィックのバーストを検出し、レイテンシーと輻輳を監視し、アプリケーションのパフォーマンスと可用性を向上させるキャパシティ・プランニングが可能*

Arista のイベント管理 (AEM)

AEM は、全般的な運用の簡素化を目的として、アラートやアクションをカスタマイズするためのツールです。AEM は、タスクを自動化し、EOS の動作とデータセンター・スイッチング・インフラ全体の運用をカスタマイズするための強力かつ柔軟性の高い機能群です。AEM によってオペレーターは、EOS に搭載されるインテリジェンスを最大限に活用して、リアルタイムにイベントに対応し、定型タスクを自動化し、変化するネットワーク条件に基づいてアクションを自動化することができます。

CloudVision

CloudVision®は、クラウド・ネットワークに最適な、ネットワーク全体のワークロードのオーケストレーションとワークフローの自動化を、ターンキー・ソリューションとして提供します。CloudVision では、独自のプログラムを開発することなく、クラウドレベルの自動化を容易に実現できます。EOS のパブリッシュ/サブスクライブをネットワーク全体に拡張したアーキテクチャにより、ネットワーク全体の状態やトポロジを一元的に可視化して管理することが可能です。

次世代のプロビジョニングとモニタリング

ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP) は、VMTracer のアダプティブ VLAN 設定のような他のアриста機能と組み合わせることで、データセンターを管理するためにネットワーク要素や仮想サーバの開始を自動化したり、アриста独自の 'ハンズオフ' プロビジョニングを利用したりすることを可能にします。アристаのオープン・アーキテクチャは VMware、OpenStack、または Microsoft OMI と統合できるように設計されているので、VM レベルで有効になるポータブルなポリシーやクラウド・ネットワークに対する持続的なモニタリングと迅速なトラブルシューティングへの可視性を提供する、あらゆる仮想化/オーケストレーション・システムと統合できます。

7020R の予測可能なネットワーク・パフォーマンス

Arista 7020R シリーズは、大容量バッファ仮想出力キュー (VOQ) アーキテクチャを採用することによって、輻輳が激しいネットワークにおいても HOL (head of line) ブロッキングやパケット損失を回避します。高度なトラフィック・スケジューラが、重み付け均等化キューイング (WFQ)、固定優先度、ハイブリッド・スキームといったキュー規則に厳格に従いつつ、すべての仮想出力キュー間で帯域幅を均等分配します。これによって Arista 7020R は、リアルタイム、マルチキャスト、ストレージ・トラフィックの負荷が混在する、非常に厳しいデータセンター要件に容易に対応しながら、低レイテンシーを実現します。

仮想化*

次世代の仮想データセンターでは、VXLAN などの新しいカプセル化技術やオーケストレーション・ツールとの密接な連携が必要です。7020R は、アристаが VM Tracer として既に提供している利用価値の高いツールを基盤として、カプセル化環境へ直接統合することが可能になっています。VXLAN と従来の L2/3 ネットワークとの間にワイヤスピードのゲートウェイを提供することによって、7020R は、サーバ、ファイアウォール、負分散装置などの VXLAN 非対応のデバイスのシームレスな統合を可能とし、MPLS などの技術を用いずに、標準規格に基づく L2 拡張技術としての VXLAN を活用できるようにします。

EOS ソフトウェアのライセンスの対象となる機能

Arista EOS は、包括的な機能を備えているほか、単一のイメージによりアристаの他のすべてのスイッチとの一貫性を保ちます。デフォルトの EOS システム・ソフトウェアには、幅広いレイヤ 2 機能と、広範なモニタリング、プロビジョニング、セキュリティ、QoS、および管理機能を備えています。レイヤ 3 の IPv4/IPv6 ユニキャストおよび IPv4 マルチキャスト・ルーティング機能には拡張ライセンスが必要です。VM Tracer には仮想化ライセンスが必要です。

* EOS では現在はサポート対象外

レイヤ 2 機能

- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- Rapid Per VLAN Spanning Tree (RPVST+)
- 4096 VLAN
- Q-in-Q
- 802.3ad Link Aggregation (LACP)
 - 32 ポート/チャンネル
 - 54 グループ/システム
- マルチシャーシ・リンク・アグリゲーション (MLAG)
 - MLAG ごとに 64 ポート
- 802.1Q VLAN/トランッキング
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3x Flow Control
- ジャンボ・フレーム (9216 バイト)
- IGMP v1/v2/v3 スヌーピング
- ストーム・コントロール

レイヤ 3 機能

- スタティック・ルート
- ルーティング・プロトコル: OSPF、OSPFv3、BGP、MP-BGP、IS-IS、RIPv2
- 128way のイコール・コスト・マルチパス・ルーティング (ECMP)
- VRF
- 双方向フォワーディング検出 (BFD)
- ルート・マップ
- ポリシー・ベース・ルーティング (PBR)*
- VRRP
- 仮想 ARP (VARP)
- uRPF*

マルチキャスト

- IGMP v2/v3
- PIM-SM/PIM-SSM
- PIM-Bidir *
- Anycast RP (RFC 4610)
- マルチキャスト・ソース検出プロトコル (MSDP)

高度なモニタリングとプロビジョニング

- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- ポート・ミラーリング
- アドバンスド・イベント・マネージャ (AEM)
 - CLI スケジューラ
 - イベント・マネージャ
 - イベント・モニター
 - Linux ツール
- TCPDump による統合パケット・キャプチャ/解析
- RFC 3176 sFlow
- USB からの復元と構成

仮想化サポート*

- VXLAN ゲートウェイ (draft-mahlingam-dutt-dcops-vxlan-01)
- VXLAN トンネル・エンドポイント
- VXLAN ブリッジング
- VXLAN ルーティング (VRF、MLAG)*
- VM Tracer による VMware との連携*
 - VMware vSphere のサポート
 - 仮想マシンの自動検出
 - 仮想マシンのアダプティブ・セグメンテーション
 - 仮想マシンのホスト・ビュー

セキュリティ機能

- L2、L3、L4 フィールドを使用する IPv4/IPv6 のインGRESS/イグレス ACL
- MAC ACL
- ACL 拒否ロギング
- ACL カウンタ
- コントロール・プレーン保護 (CPP)
- DHCP リレー/スヌーピング
- MAC セキュリティ
- TACACS+
- RADIUS

QoS 機能

- ポートごとに最大 8 クラスのキュー
- 802.1p ベースのクラス分類
- DSCP ベースの分類およびリマーケティング
- Explicit Congestion Notification (ECN)*
- QoS インターフェース・トラスト (COS/DSCP)
- ストリクト・プライオリティ・キューイング
- PFC (Per-Priority Flow Control)*
- DCBX (Data Center Bridging Extensions)*
- ACL ベースの DSCP マーキング*
- ポリシング/シェーピング
- レート制限*

ネットワーク管理

- CloudVision
- 設定のロールバックとコミット
- 100/1000 管理ポート
- RS-232 シリアル・コンソール・ポート
- USB ポート
- SNMP v1、v2、v3
- IPv6 経由の管理
- Telnet および SSHv2
- Syslog
- AAA
- 業界標準 CLI
- システム・ロギング
- 環境監視

* 現行 EOS では未サポート

拡張性

- Linux ツール
 - Bash シェル・アクセスとスクリプティング
 - RPM サポート
 - カスタム・カーネル・モジュール
- Software Defined Networking(SDN)
 - eAPI
 - OpenStack Neutron のサポート
- システム状態へのプログラムによるアクセス
 - Python
 - Chef
 - Puppet
 - C++
 - eAPI
 - GO
 - OpenConfig
 - OpenStack Neutron プラグインのサポート
- KVM/QEMU のネイティブ・サポート

準拠規格

- 802.1D Bridging and Spanning Tree
- 802.1p QOS/COS
- 802.1Q VLAN Tagging
- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3ad LACP によるリンク・アグリゲーション
- 100BASE-TX および 1000BASE-T での 802.3x 全二重
- 802.3u 100BASE-TX
- 802.3ab 1000BASE-T
- 802.3z 1000BASE-X
- 802.3ae 10 Gigabit Ethernet
- RFC 2460 Internet Protocol, Version 6 (IPv6) Specification
- RFC 4861 Neighbor Discovery for IP Version 6 (IPv6)
- RFC 4862 IPv6 Stateless Address Autoconfiguration
- RFC 4443 Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification

SNMP MIB

- RFC 3635 EtherLike-MIB
- RFC 3418 SNMPv2-MIB
- RFC 2863 IF-MIB
- RFC 2864 IF-INVERTED-STACK-MIB
- RFC 2096 IP-FORWARD-MIB
- RFC 4363 Q-BRIDGE-MIB
- RFC 4188 BRIDGE-MIB
- RFC 2013 UDP-MIB
- RFC 2012 TCP-MIB
- RFC 2011 IP-MIB
- RFC 2790 HOST-RESOURCES-MIB
- RFC 3636 MAU-MIB
- RMON-MIB
- RMON2-MIB

- HC-RMON-MIB
- LLDP-MIB
- LLDP-EXT-DOT1-MIB
- LLDP-EXT-DOT3-MIB
- ENTITY-MIB
- ENTITY-SENSOR-MIB
- ENTITY-STATE-MIB
- ARISTA-ACL-MIB
- ARISTA-QUEUE-MIB
- RFC 4273 BGP4-MIB
- RFC 4750 OSPF-MIB
- ARISTA-CONFIG-MAN-MIB
- RFC 2787 VRRPv2MIB
- MSDP-MIB
- PIM-MIB
- IGMP-MIB
- IPMROUTE-STD-MIB
- SNMP Authentication Failure trap
- ENTITY-SENSOR-MIB support for DOM(Digital Optical Monitoring)
- ユーザー定義が可能なカスタム OID

MIB の最新のサポート状況については EOS のリリース・ノートを参照

テーブル・サイズ

STP インスタンス	64(MST)/510(RPVST+)
IGMP グループ	最大 64K
イングレス ACL	12K
イグレス ACL	12K
ECMP	128way
MAC アドレス	256K
IPv4 ホスト・ルート	80K
IPv4 マルチキャスト(S、G)	24K
IPv6 ホスト・ルート	80K
IPv4 ルート - ユニキャスト	200K
IPv6 ルート - ユニキャスト	200K

最大値は共有リソースに依存する場合あり

環境的特性

動作温度	0~40°C (32~104°F)
保管温度	-40~70°C (-40~158°F)
相対湿度	5~95%
動作高度	0~10,000 フィート (0~約 3km)

準拠規格

EMC	放射: FCC、EN55022、EN61000-3-2、 EN61000-3-3 または EN61000-3-11、 EN61000-3-12 (該当する場合) イミュニティ: EN55024 放射とイミュニティ: EN300 386
安全性	UL/CSA 60950-1、EN 60950-1、IEC 60950-1 CB Scheme および各国の個別要求事項
認証	北米 (NRTL) 欧州連合 (EU) BSMI (台湾) C-Tick (オーストラリア) CCC (中国) MSIP (韓国) EAC (関税同盟) VCCI (日本)
欧州連合指令	2006/95/EC Low Voltage Directive 2004/108/EC EMC Directive 2011/65/EU RoHS Directive 2012/19/EU WEEE Directive

サポートする SFP 光接続およびケーブル

インターフェイスの種類	SFP+ポート
10GBASE-CR	SFP+ to SFP+: 0.5m~5m
10GBASE-AOC	SFP+ to SFP+: 3m~30m
10GBASE-SRL	100m (OM3) / 150m (OM4)
10GBASE-SR	300m (OM3) / 400m (OM4)
10GBASE-LRL	1km SMF
10GBASE-LR	10km SMF
10GBASE-ER	40km
10GBASE-ZR	80km
10GBASE-DWDM	80km
100/1000BASE-T、1GbE SX/LX	あり

* 通常消費電力は周囲温度 25C の環境で負荷 50% の状態で測定

仕様

7020TR-48

ポート	48 個の 100/1000Mb RJ-45 ポート 6 個の 1/10GbE SFP+ポート
1/10GbE SFP/SFP+ポート	6
100/1000BASE-T (RJ45) ポート	48
スループット	216 Gbps
パケット/秒	162 Mpps
レイテンシー (RJ45 からアップリンク)	3.8 マイクロ秒から
CPU	クアッドコア x86
システム・メモリ	8GB
フラッシュ・ストレージ・メモリ	4GB
パケット・バッファ・メモリ	3GB
100/1000 管理ポート	1
RS-232 シリアル・ポート	1 (RJ-45)
USB ポート	2
電源	2 (1+1 冗長)
ホット・スワップ可能ファン	4 (N+1 冗長)
反転可能なエアフロー	あり
通常消費電力*	105W
最大消費電力	115W
サイズ (幅 x 高さ x 奥行)	17.3x1.71x15.8 インチ (43.9x4.34x40.1cm)
重量	7.71kg (17 ポンド)

電源仕様

電源モデル	PWR-500AC	PWR-500-DC
入力電圧	100-240AC	40-72V DC
通常入力電流	6.3 - 2.3A	13.1 - 7.3A -48V で 11A
入力周波数	50/60Hz	DC
入力コネクタ	IEC 320-C13	AWG #16-#12
電力効率 (通常)	93% プラチナ	90%

発注情報

製品番号	製品説明
DCS-7020TR-48-F	Arista 7020R、48x RJ45(100/1000Mb)、6 x SFP+(1/10GbE)スイッチ、前面吸気/背面排気、2x AC、2xC13-C14コード
DCS-7020TR-48-R	Arista 7020R、48x RJ45(100/1000Mb)、6 x SFP+(1/10GbE)スイッチ、背面吸気/前面排気、2x AC、2xC13-C14コード
DCS-7020TR-48#	Arista 7020R、48x RJ45(100/1000Mb)、6 x SFP+(1/10GbE)スイッチ、設定可能なファンと PSU
LIC-7048-E	アリスタのボックス型 48 ポート・ギガビット・イーサネット・スイッチ向け拡張ライセンス (OSPF、BGP、ISIS、PIM)
LIC-7048-V	アリスタのボックス型 48 ポート 1G (VM Tracer) 向け仮想化ライセンス
LIC-FIX-FLX-L-1G	アリスタのギガビット・イーサネット・スイッチ向け FlexRoute-Lite ライセンス (OSPF、ISIS、BGP/MP-BGP、PIM、最大 32K ルート、EVPN、VXLAN)
LIC-FIX-FLX-1G	アリスタのギガビット・イーサネット・スイッチ向け FlexRoute ライセンス (OSPF、ISIS、BGP/MP-BGP、PIM、32K~200K ルート、EVPN、VXLAN)

スペア・オプション

PWR-500AC-F	Arista 7050X、7020R、および 7280R 1RU スイッチ用 500W スペア AC 電源 (前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-500AC-R	Arista 7050X、7020R、および 7280R 1RU スイッチ用 500W スペア AC 電源 (背面吸気/前面排気エアフロー)
PWR-500-DC-F	Arista 7050X、7020R、および 7280R 1RU スイッチ用 500W スペア DC 電源 (前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-500-DC-R	Arista 7050X、7020R、および 7280R 1RU スイッチ用 500W スペア DC 電源 (背面吸気/前面排気エアフロー)
FAN-7000-F	Arista 7150、7124SX (FX)、7050、7020R、7280、および 7048-A スイッチ用のスペア・ファン・モジュール (前面吸気/背面排気エアフロー)
FAN-7000-R	Arista 7150、7124SX (FX)、7050、7020R、7280、および 7048-A スイッチ用のスペア・ファン・モジュール (背面吸気/前面排気エアフロー)
KIT-7001	Arista 1RU ツールレス・スイッチ用のスペア・アクセサリ・キット
KIT-2POST-1U-NT	1RU ツールレス・システム用スペア 1RU 2 ポスト・レール・キット
KIT-4POST-NT	4 ポスト構成用スペア 1RU/2RU ツールレス・レール・キット

保証

Arista 7020R スイッチは、1年間の制限付きハードウェア保証の対象で、製品を受領してから10営業日以内の部品提供、修理、または交換を保証します。

サービスおよびサポート

翌営業日および 4 時間以内の高度なハードウェア交換を含むサポート・サービスが提供されています。サービス拠点については、以下を参照してください。<http://www.arista.com/en/service>

アリスタネットワークスジャパン合同会社

〒170-6045 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 45F
Tel:03-5979-2012(代表)

西日本営業本部
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19階
Tel: 06-6133-5681

お問い合わせ先
japan-sales@arista.com

Copyright © 2017 Arista Networks, Inc. All rights reserved. CloudVision、EOS は、Arista Networks, Inc. の登録商標です。Arista Networks は Arista Networks, Inc. の商標です。その他の企業名はすべて、それぞれの所有者の商標です。本書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。一部の機能は、まだ提供されていない可能性があります。Arista Networks, Inc. は、本書に含まれる誤りについて、一切の責任を負わないものとします。